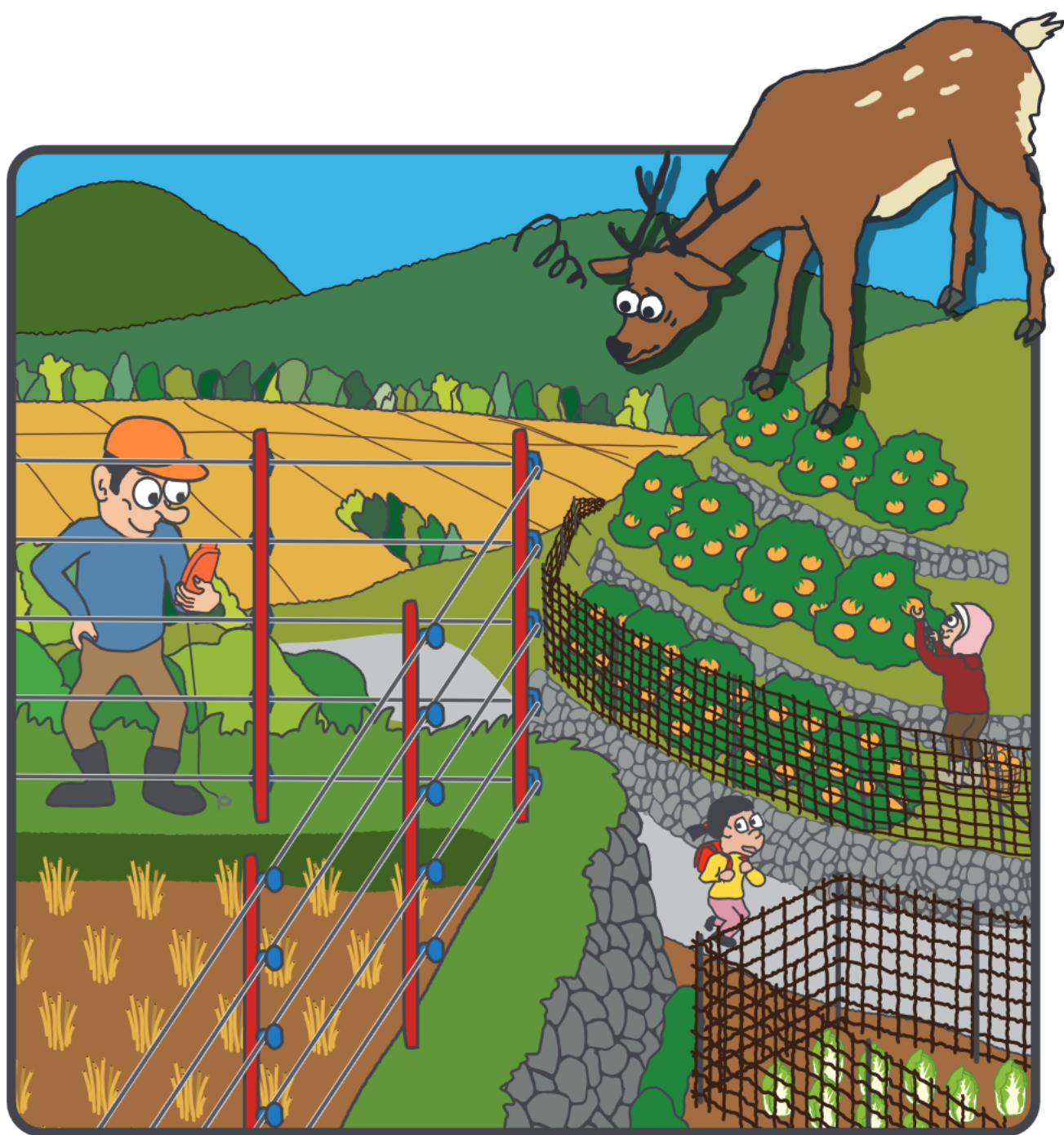


ニホンジカから田畑を守る！

ニホンジカ被害対策マニュアル

～ニホンジカに強い集落環境づくり～



徳島県

ニホンジカを知る



ニホンジカの痕跡

足跡

ニホンジカは副蹄がつきにくい

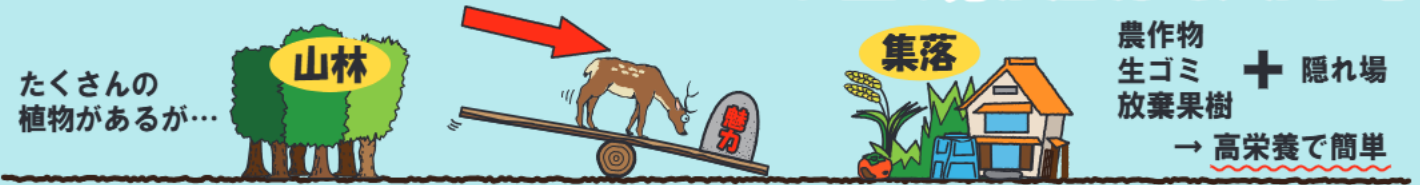
参考 イノシシの足跡
副蹄
イノシシは副蹄がつきやすい

足跡のパターン

約100cm (身体の大きさによる)



Q.「なぜ里に降りてくるのか？」 **答えは簡単** A.「里の方が**魅力的**だから！」



対策の考え方 → 「魅力がなくしてニホンジカが行きたくなくなる集落環境に！」

手に入りやすい ・農作物・放棄果樹 ・生ゴミ・堆肥置き場	食物が手に入りやすいか？	手に入りにくい ・これらを防護柵で囲う ・これらを除去する
安全そう ・藪などの隠れ場所	安全か？	危険そう ・刈り払われ身を隠せない

1. 集落をみんなで点検

根気強く継続することが重要!

① 相手を知る

ニホンジカの痕跡や習性を学び、知識を身につけて適切な点検・対策を



③ 情報の共有

点検結果や気付いたことなどの情報を共有し、対策の方針をみんなで検討



② 現地を点検

実際にみんなで集落内を点検
学んだことを活かして侵入の痕跡や
エサ場、隠れ場などがいないか確認

繰り返す



エサ場(誘引物)となる可能性あり

侵入の痕跡

2. 誘引物の管理 工サ場と隠れ場の除去



食物

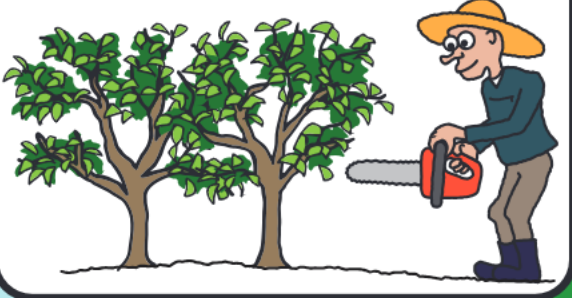
人間には
価値がなくても

隠れ場

すぐに逃げ込める安心感



放棄果樹は伐採!



ざんさ
農作物残渣は囲う!



簡単に
食べさせない

ざんさ
農作物残渣は
深めに埋める!

or



草藪を刈り払う!



身を隠せる場所をなくす



! 青草が生い茂るとニホンジカを誘引する要因となる
特に冬季は、草刈りの時期を調整するなどの配慮が必要

3. 柵で囲う 柵の設置方法

四方をすべて囲う
(開口部があると侵入され易い)



柵

ニホンジカの口が
届かない距離に
作物を植える



外側にも人が歩ける
幅をもたせて管理し易く

斜面のすぐ下や斜面中は
上から飛び込み易くなる



○ 着地点が目線より下方



不安な要素を増やして
飛び込みを抑制

○ 斜面から
離して設置

ワイヤーメッシュ柵

線径(鉄線の直径)は4mm以上
(イノシシもいる場合は5mm以上)

支柱は、ワイヤーメッシュの
内側(圃場側)に設置

直径13mm以上の異型鉄筋を
30cm以上打ち込み、必要に
応じて補強

メッシュの交差するところで
たすきがけに結束



メッシュの下部にすき間が
できないよう地面に足で踏み込む

柵の
高さは
2m以上

メッシュの目合は15cm以下
(イノシシもいる場合は10cm以下)



侵入路になる
側溝や水路は
またがない

長所

見回り・点検頻度に係る
労力は少ない

短所

設置費用が高い
設置時に労力が必要

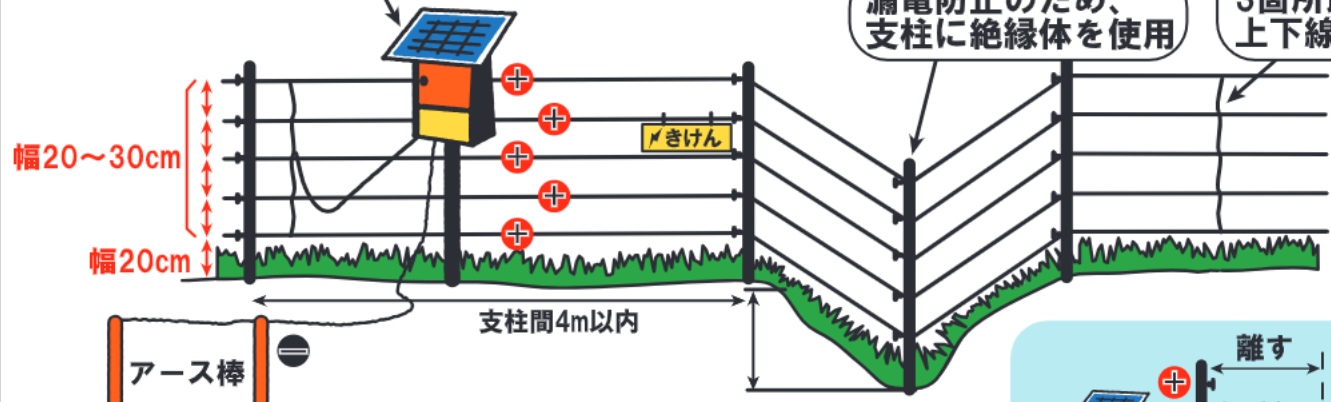
電気柵

自作品は危険！
PSEマークの付いた製品を使用



漏電防止のため、
支柱に絶縁体を使用

断線に備え、
3箇所以上
上下線を結線



アース棒は
取扱説明書
に従い設置

適正電圧は
4,000V以上
チェッカーで
こまめに点検

高低差があるところ
は支柱を増やし、
通電線の高さの間隔
を維持



アース棒から湿り気のある土を経由し、
ニホンジカの体内を通り電線と感電させる
コンクリートや舗装は通電しにくいので、
柵は舗装から離して設置する

- 長所** 設置費用が安い
設置しやすい
- 短所** 漏電防止の草刈りが必要
頻繁に電圧のチェックが必要

その他にも...

- 危険を知らせる表示看板の設置
- 人への感電を防止するため、必ず電気柵用電源装置を使用
- 家庭のコンセントから電気を供給する場合は、漏電遮断器を設置
- 容易に操作できる箇所に電源からの開閉スイッチを設置
- 通電させない時期は柵線を撤去

柵のチェックポイント



チェック
✓ すき間がないか点検
(押し広げて侵入される)



チェック
✓ 全周を囲う
(端があると回り込まれる)



チェック
✓ 強度不足の資材は不可
(変形して侵入の原因に)



チェック
✓ 下段は約 20cm
(敏感な鼻が感電する高さに)



チェック
✓ 柵周りの草刈りを徹底
(草などが当たると電圧が低下)



チェック
✓ 碍子(がいし)は外側
(内側だと支柱が倒される)

4. 点検と補修

「柵を設置したら終わり」ではありません！

対策をただけでは効果は維持できません。頻繁に見回ることによって効果を持続させることができます。

エサを与えていないか？

- 放棄果樹がないか → 収穫する又は思い切って伐採する
- 二番穂が育っていないか → 刈り取る又はすき込む
- 農作物残渣^{ざんさ}は食べられていないか → 食べられないように囲う又は深く埋める

隠れ場を与えていないか？

- 耕作地周辺の藪が茂っていないか → 刈り払う
- 耕作地以外の山際や耕作放棄地の藪が茂っていないか → 見通しを良くして柵の不具合を早期発見

柵の効果は損なわれていないか？

- 柵が破損していないか
特に、台風や大雪の後は倒木による破損がないか → **すぐ補修 侵入路だと学習させない**
！ 容易に通れると認識されてしまうと執着され、何度も壊される
- 事前に柵周辺の倒れそうな樹木を除去
- 潜り込む隙間は開けられていないか → **すぐ埋めて補強 侵入路だと学習させない**
- 電気柵の電圧は低下していないか
こまめに（毎週）チェック → 漏電箇所の対策や機材を適切な状態に
！ バッテリーが弱っていないかチェック
- 農閑期に電気柵を通電せずに放置していないか → 農閑期にも常に通電させる又は撤去する
！ 簡単に通過できることを学習されると効果がない

その他…

- 見回りは柵の外からも、ニホンジカ^{ニホンジカ}の目線でチェック
- 農閑期も見回りを継続して、人がいる気配を絶やさない
- 柵や林道のゲートの管理を徹底（昼夜活動するため、開放厳禁）



かんたん！みんなでやれば、被害は減る！

獣害対策の5ヶ条

- その1 相手を知ろう
- その2 エサをなくそう
- その3 柵で囲おう
- その4 隠れ場、逃げ場をなくそう
- その5 こまめに集落を点検しよう



鳥獣被害対策のご相談は

最寄りの市町村、JAまたは下記の県の相談窓口へ

県の相談窓口

お問い合わせ先	管轄区域	電話番号
鳥獣対策課		088-621-2451
徳島農業支援センター	徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町	088-626-8771
鳴門藍住農業支援センター	鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町	088-692-2515
吉野川農業支援センター	吉野川市、阿波市	0883-26-3971
阿南農業支援センター	阿南市、那賀町	0884-24-4184
美波農業支援センター	牟岐町、美波町、海陽町	0884-74-7491
美馬農業支援センター	美馬市、つるぎ町	0883-53-2312
三好農業支援センター	三好市、東みよし町	0883-76-0691

「ニホンジカから田畑を守る！

ニホンジカ被害対策マニュアル ～ニホンジカに強い集落環境づくり～」

平成31年3月

企画・発行 徳島県 農山漁村振興課

製 作 株式会社 一成